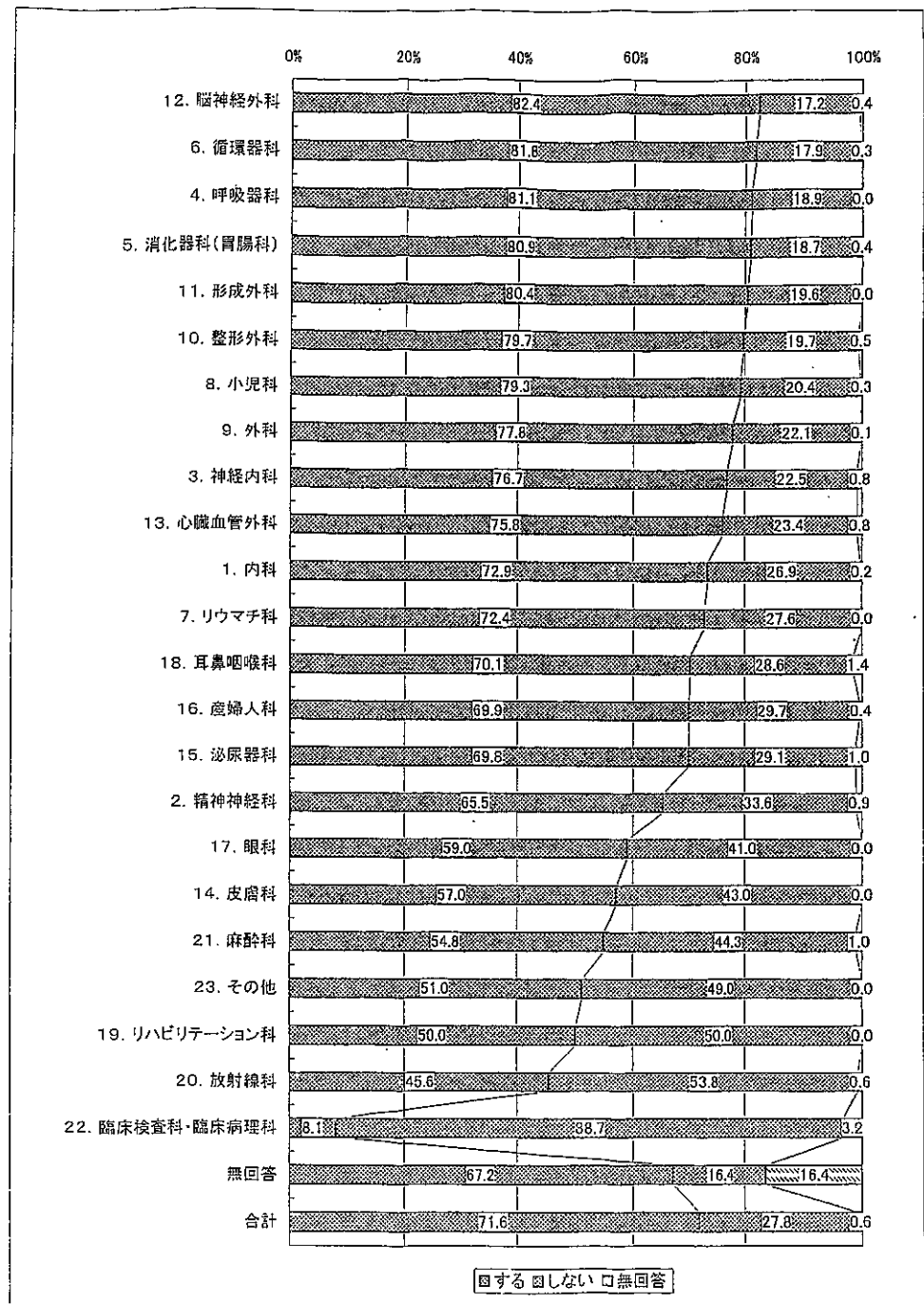


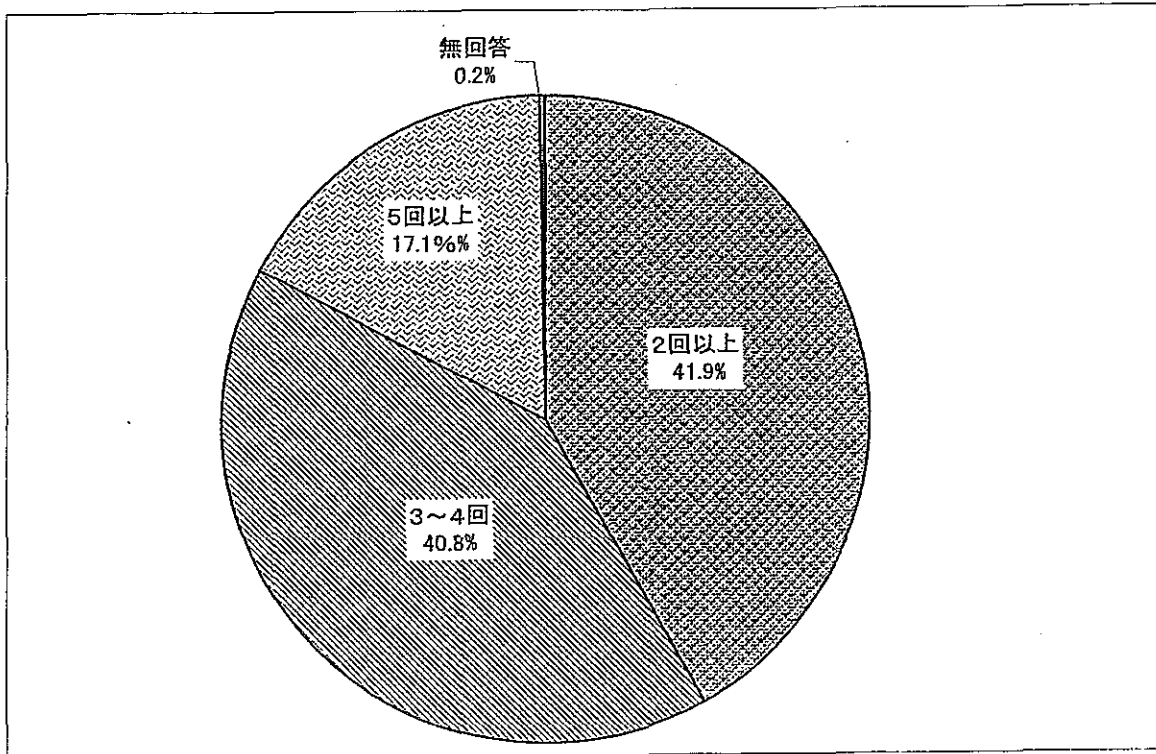
Q11*Q16(人)	Q16:あなたは「夜間当直」をされますか。			
Q11:現在の主たる診療科目又は就業内容は何か。	する(%)	しない(%)	無回答	
12. 脳神経外科	211 (82.4)	44 (17.2)	1	256
6. 循環器科	265 (81.8)	58 (17.9)	1	324
4. 呼吸器科	150 (81.1)	35 (18.9)		185
5. 消化器科(胃腸科)	225 (80.9)	52 (18.7)	1	278
11. 形成外科	41 (80.4)	10 (19.6)		51
10. 整形外科	311 (79.7)	77 (19.7)	2	390
8. 小児科	287 (79.3)	74 (20.4)	1	362
9. 外科	642 (77.8)	182 (22.1)	1	825
3. 神経内科	99 (76.7)	29 (22.5)	1	129
13. 心臓血管外科	94 (75.8)	29 (23.4)	1	124
1. 内科	632 (72.9)	233 (26.9)	2	867
7. リウマチ科	21 (72.4)	8 (27.6)		29
18. 耳鼻咽喉科	103 (70.1)	42 (28.6)	2	147
16. 産婦人科	174 (69.9)	74 (29.7)	1	249
15. 泌尿器科	139 (69.8)	58 (29.1)	2	199
2. 精神神経科	76 (65.5)	39 (33.6)	1	116
17. 眼科	85 (59.0)	59 (41.0)		144
14. 皮膚科	69 (57.0)	52 (43.0)		121
21. 麻酔科	115 (54.8)	93 (44.3)	2	210
23. その他	147 (51.0)	141 (49.0)		288
19. リハビリテーション科	30 (50.0)	30 (50.0)		60
20. 放射線科	72 (45.6)	85 (53.8)	1	158
22. 臨床検査科・臨床病理科	5 (8.1)	55 (88.7)	2	62
無回答	41 (67.2)	10 (16.4)	10	61
合計	4,034 (71.6)	1,569 (27.8)	32	5635



Q17 Q16で「する」と答えた方にお尋ねします。
 1ヶ月の平均「夜勤当直」は何回くらいですか。

n=4034

	回答数(%)
2回以内	1,692(41.9)
3~4回	1,645(40.8)
5回以上	688(17.1)
小計	4,025(99.8)
無回答	9(0.2)
計	4,034(100.0)



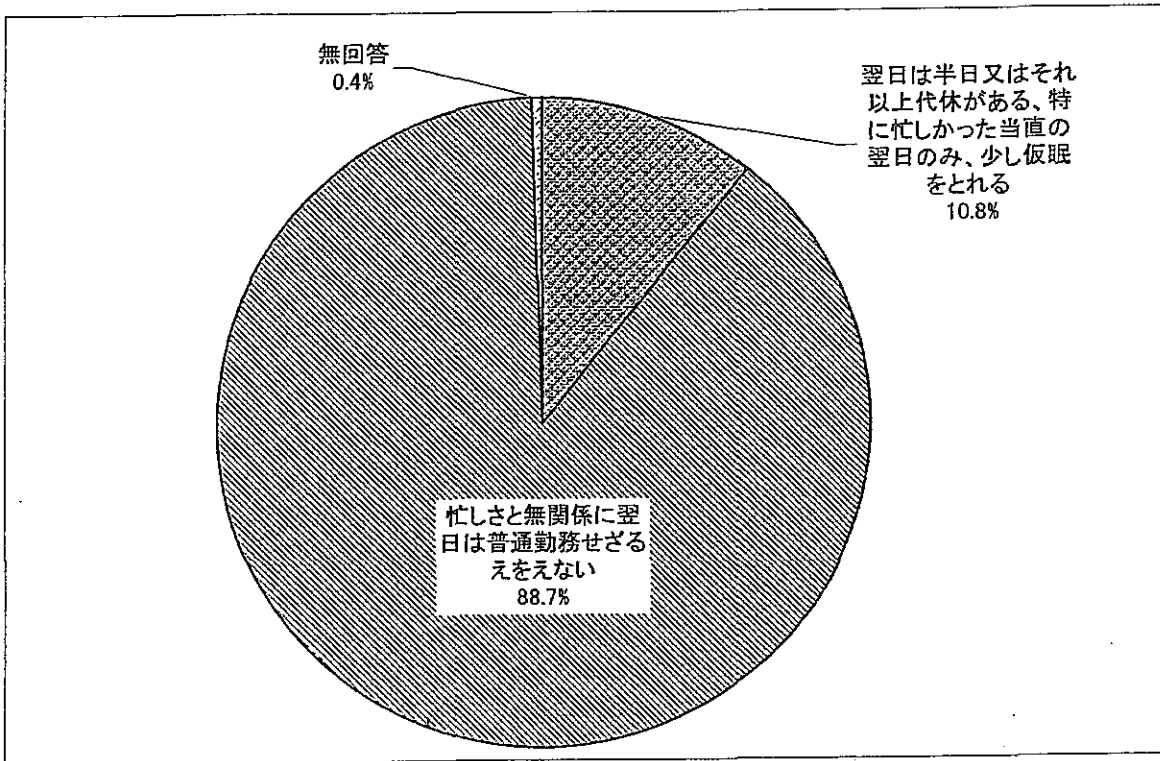
Q. 16で夜間当直を「する」と答えた医師の1カ月の平均回数は、「月2回以内」が41.9%、「3回から4回」が40.8%。また「5回以上」は17.1%もあり、3回以上の合計は57.9%もあった。当直での業務内容とQ12の勤務時間の状況を他の職種にみられない過酷さである。

クロス集計からは、年齢、病床の多少による差はみられなかった。

Q18 Q16で「する」と答えた方にお尋ねします。
「夜間当直」の翌日はどのようにしていますか。

n=4034

	回答数(%)
翌日は半日又はそれ以上代休がある 特に忙しかった当直の翌日のみ、少し仮眠をとれる	437 (10.8)
忙しさと無関係に翌日は普通勤務をせざるをえない	3,580 (88.7)
小計	4,017 (99.6)
無回答	17 (0.4)
計	4,034 (100.0)



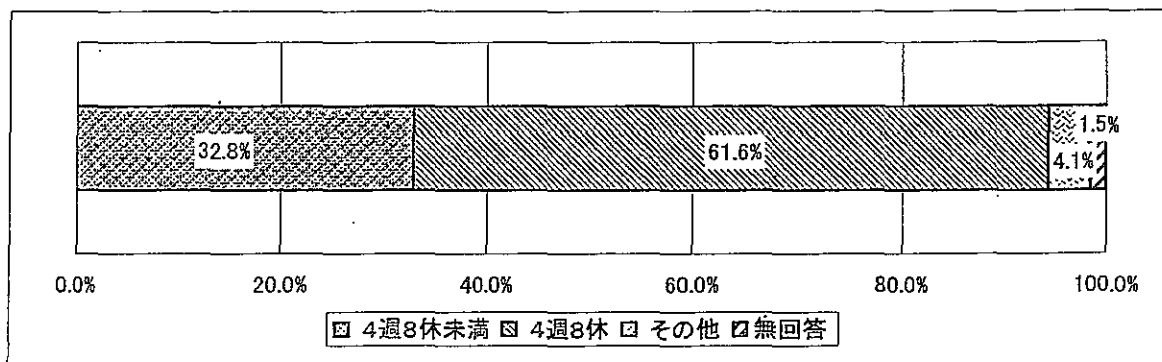
Q. 16で夜間当直を「する」と答えた医師は、「忙しさと無関係に（夜間当直の）翌日は普通勤務せざるをえない」が88.7%と圧倒的に多かった。

「翌日は半日又はそれ以上代休がある、特に忙しかった当直の翌日のみ、少し仮眠をとれる」は、僅か10.8%であった。

クロス集計からは、年齢、病床の多少による差はみられなかった。

Q19 あなたの勤務先では週休2日が実施されていますか。

	回答数(%)
4週8休未満	1,846 (32.8)
4週8休	3,470 (61.6)
その他	233 (4.1)
小計	5,549 (98.5)
無回答	86 (1.5)
計	5,635(100.0)

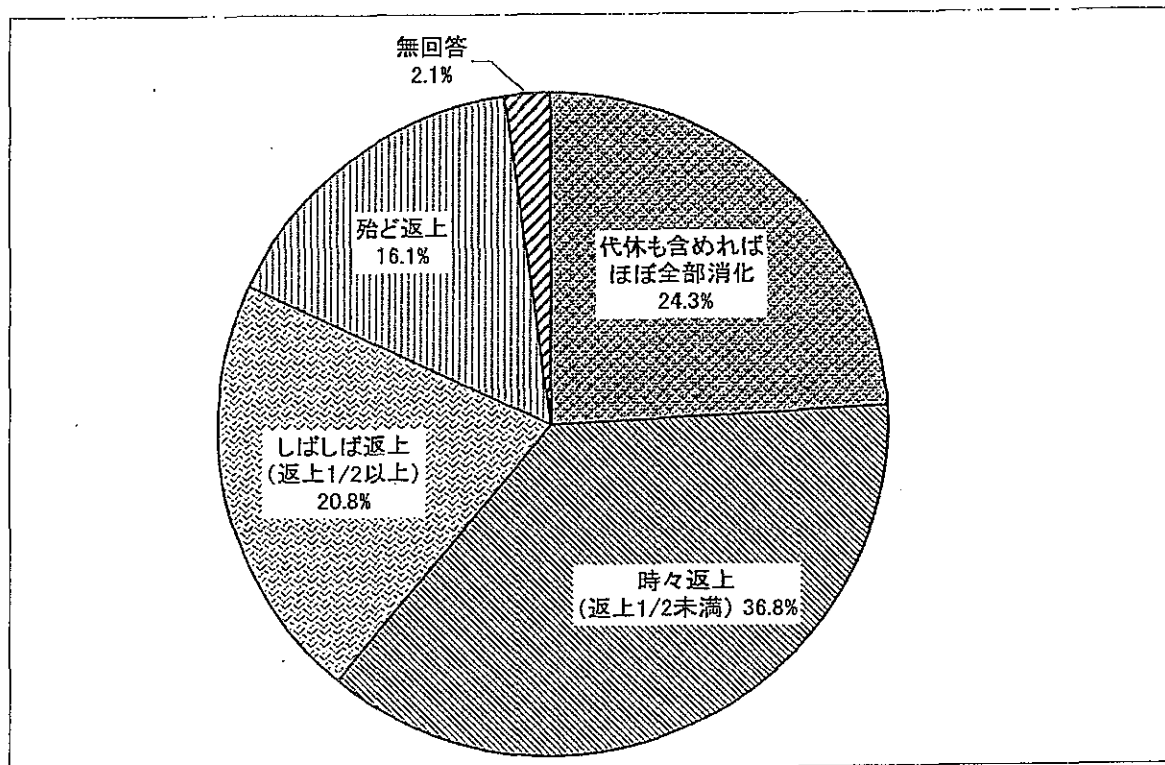


週休2日制について、「4週8休」は約3分の1が取得できないでいる。
クロス集計でもどの年代も同じ傾向にあった。

Q20 Q19で「4週8休未満（除4週4休）」と答えた方にお尋ねします。
その週休をどれだけ消化されていますか。

n=4602

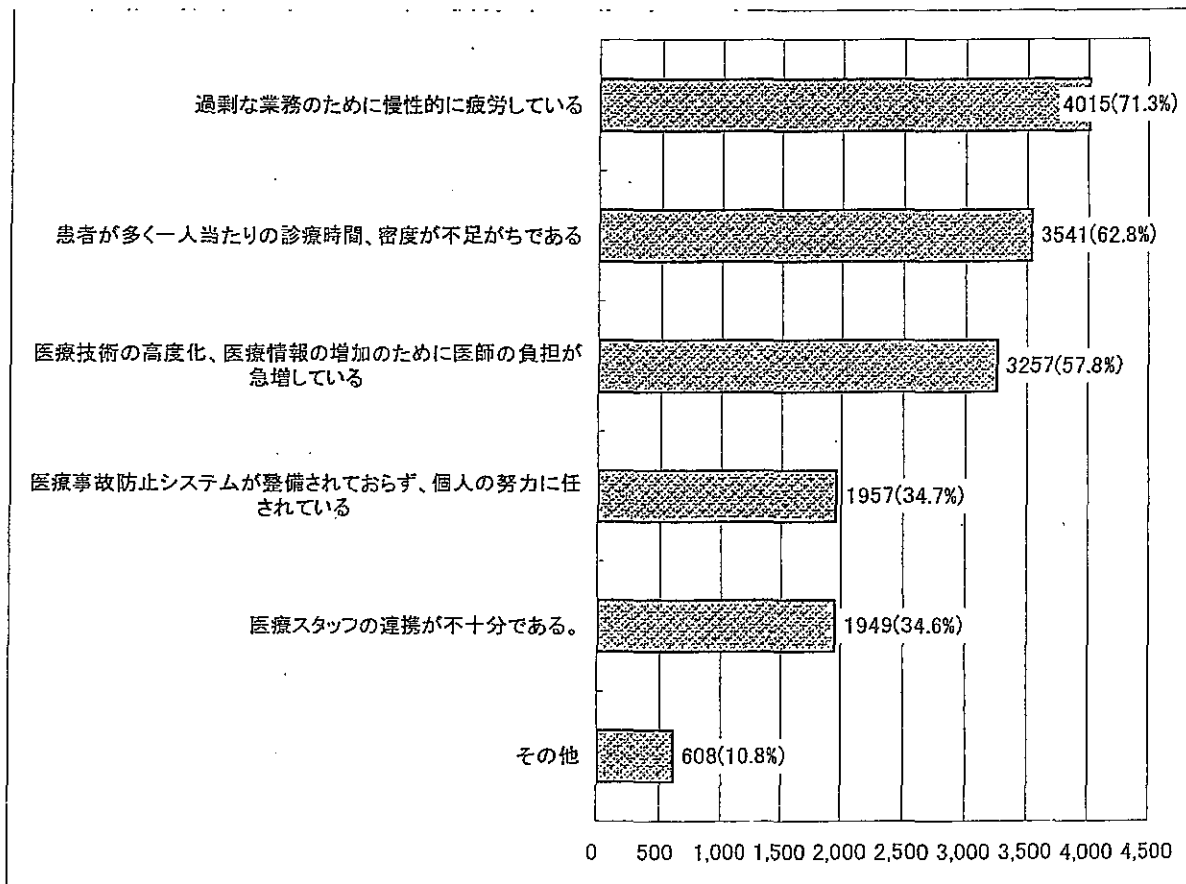
	回答数(%)
代休も含めればほぼ全部消化	1,117(24.3)
時々返上(返上1/2未満)	1,694(36.8)
しばしば返上(返上1/2以上)	956(20.8)
殆ど返上	739(16.1)
小計	4,506(97.9)
無回答	96(2.1)
計	4,602(100.0)



週休2日制について、Q. 19で「4週8休未満（除4週4休）」と答えた医師の週休の消化率は、「時々返上（返上1/2未満）」が36.8%と最も多く、「しばしば返上（返上1/2以上）」が20.8%、「殆ど返上」が16.1%、合わせて73.7%が「返上」していた。「代休も含めればほぼ全部消化」は24.3%しかいない。

Q21 医療過誤の報告が増えています。医療過誤の原因として、医師の勤務状態との関連をどの様に考えますか。一般論としてお答えください。
 医療過誤は、事故からヒヤリハットまで含みます。(複数回答可)

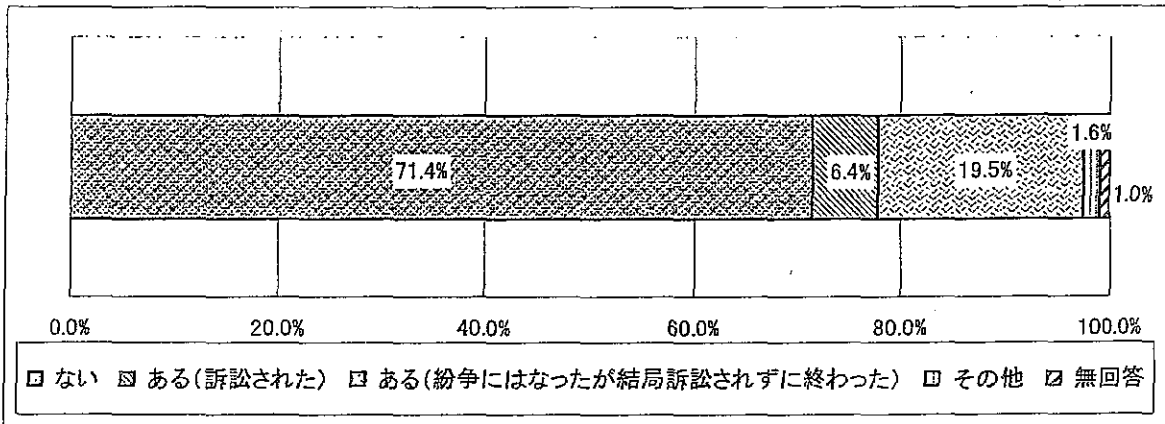
	回答数	回答率
過剰な業務のために慢性的に疲労している	4,015	71.3%
患者が多く一人当たりの診療時間、密度が不足がちである	3,541	62.8%
医療技術の高度化、医療情報の増加のために医師の負担が急増している	3,257	57.8%
医療事故防止システムが整備されておらず、個人の努力に任されている	1,957	34.7%
医療スタッフの連携が不十分である。	1,949	34.6%
その他	608	10.8%



医療過誤の原因は、「過剰な業務のために慢性的に疲労している」ことを挙げているのが71.3%、次いで、「患者が多く一人当たりの診療時間、密度が不足がちである」と感じているのが62.8%、「医療技術の高度化、医療情報の増加のために医師の負担が急増している」というのが57.8%で、いずれも過半数を占めていた。これらの原因が重なっているとの回答であった。

Q22 医事紛争の経験がおありですか。

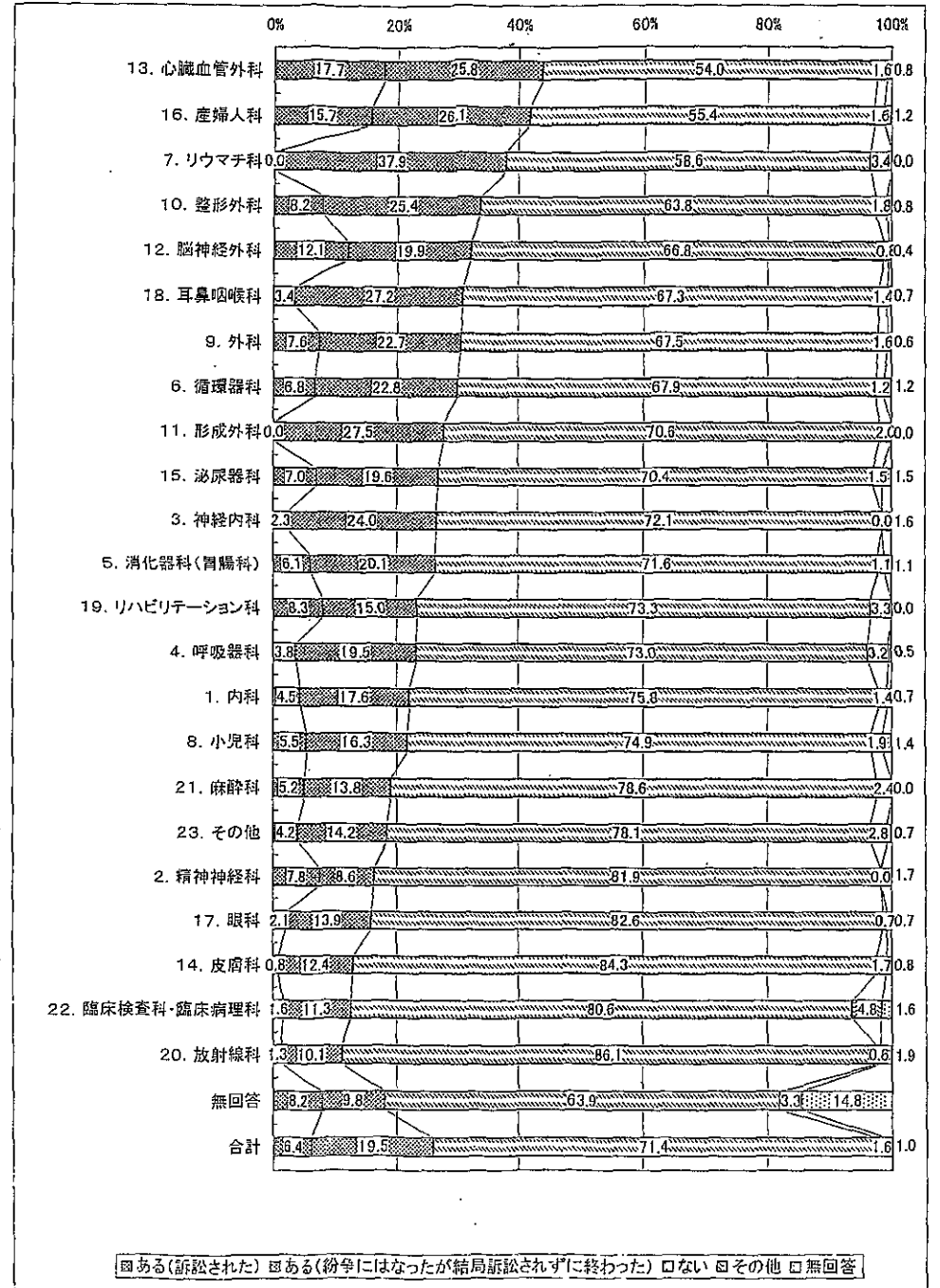
	回答数 (%)
ない	4,024 (71.4)
ある (訴訟された)	3,63 (6.4)
ある (紛争にはなったが結局訴訟されずに終わった)	1,100 (19.5)
その他	91 (1.6)
小計	5,578 (99.0)
無回答	57 (1.0)
計	5,635 (100.0)



医事紛争の経験は、「ない」が71.4%だが、「ある (訴訟された)」「ある (紛争にはなったが結局訴訟されずに終わった)」が合わせて25.9%で、4人に1人が経験していた。

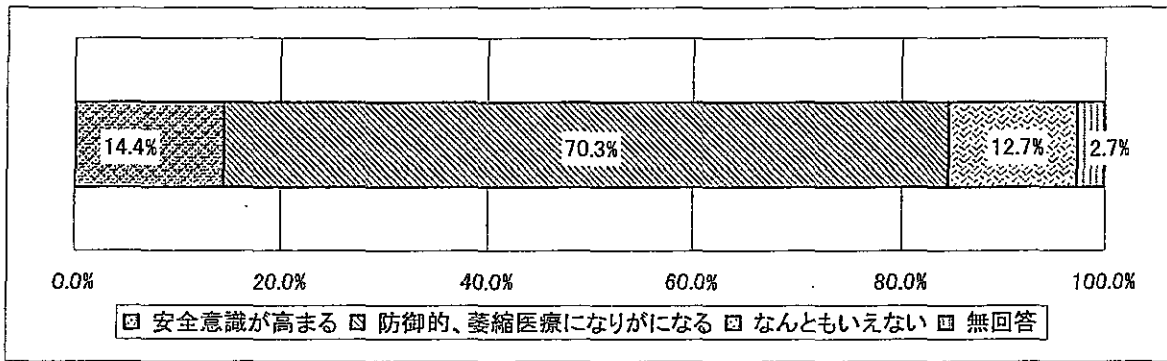
医事紛争の多い診療科は、心臓血管外科、産婦人科、整形外科、脳神経外科など。リウマチ科は、訴訟になっていないが、紛争は多かった。

Q11*Q22(人)	Q22: 医事紛争の経験がありますか					
Q1: 現在の主たる診療科目又は就業内容は何か	ある(訴訟された) (%)	ある(紛争には なつた) (%)	ない (%)	その他	無回答	合計
13. 心臓血管外科	22 (17.7)	32 (25.8)	67 (54.0)	2	1	124
16. 産婦人科	39 (15.7)	65 (26.1)	138 (55.4)	4	3	249
7. リウマチ科		11 (37.9)	17 (58.6)	1		29
10. 整形外科	32 (8.2)	99 (25.4)	249 (63.8)	7	3	390
12. 脳神経外科	31 (12.1)	51 (19.9)	171 (66.8)	2	1	256
18. 耳鼻咽喉科	5 (3.4)	40 (27.2)	99 (67.3)	2	1	147
9. 外科	63 (7.6)	187 (22.7)	557 (67.5)	13	5	825
6. 循環器科	22 (6.8)	74 (22.8)	220 (67.9)	4	4	324
11. 形成外科		14 (27.5)	36 (79.6)	1		51
15. 泌尿器科	14 (7.0)	39 (19.6)	140 (70.4)	3	3	199
3. 神経内科	3 (2.3)	31 (24.0)	93 (72.1)		2	129
5. 消化器科(胃腸科)	17 (6.1)	56 (20.1)	199 (71.6)	3	3	278
19. リハビリテーション科	5 (8.3)	9 (15.0)	44 (73.3)	2		60
4. 呼吸器科	7 (3.8)	36 (19.5)	135 (73.0)	6	1	185
1. 内科	39 (4.5)	153 (17.6)	657 (75.8)	12	6	867
8. 小児科	20 (5.5)	59 (16.3)	271 (74.9)	7	5	362
21. 麻酔科	11 (5.2)	29 (13.8)	165 (78.6)		5	210
23. その他	12 (4.2)	41 (14.2)	225 (78.1)	8	2	288
2. 精神神経科	9 (7.8)	10 (8.6)	95 (81.9)		2	116
17. 眼科	3 (2.1)	20 (13.9)	119 (82.6)	1	1	144
14. 皮膚科	1 (0.8)	15 (12.4)	102 (84.3)	2	1	121
22. 臨床検査科・臨床病理科	1 (1.6)	7 (11.3)	50 (80.6)	3	1	62
20. 放射線科	2 (1.3)	16 (10.1)	136 (86.1)	1	3	158
無回答	5 (8.2)	6 (9.8)	39 (63.9)	2	9	61
合計	363 (6.4)	1,100 (19.5)	4,024 (71.4)	91	57	5635



Q23 医事紛争への現状の対応について、診療への影響はどの様に考えますか。

	回答数(%)
安全意識が高まる	810 (14.4)
防御的、萎縮医療になりがちになる	3959 (70.3)
なんともいえない	716 (12.7)
小計	5,485 (97.3)
無回答	150 (2.7)
計	5,635 (100.0)



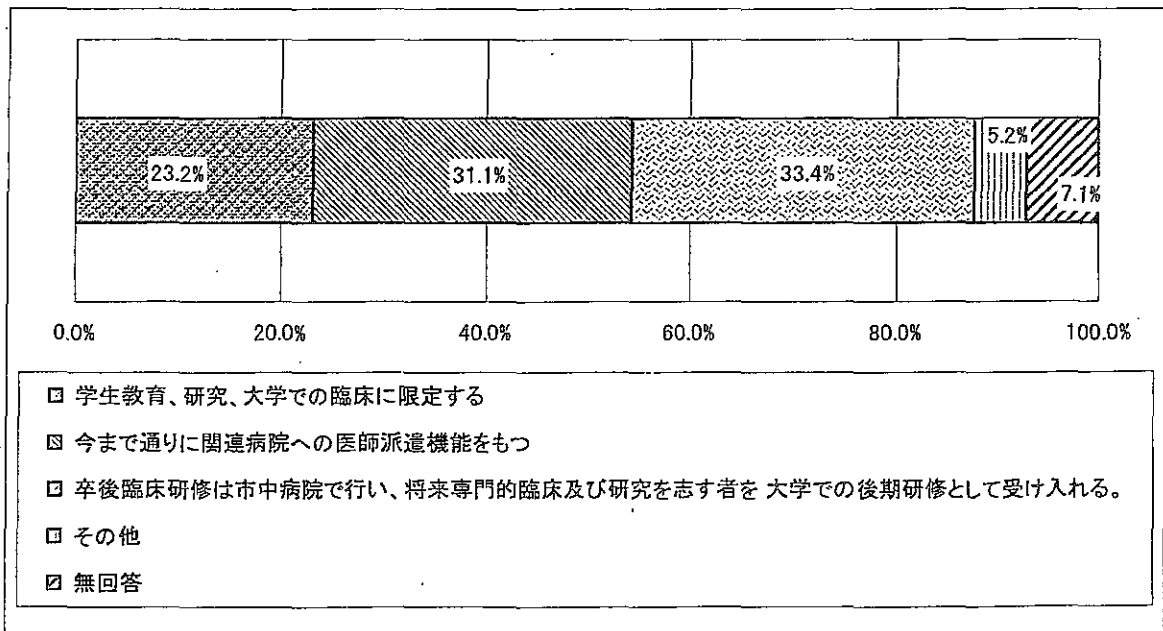
医事紛争による診療への影響は、「防御的、萎縮医療になりがちになる」が70.3%と圧倒的に多く、「安全意識が高まる」が14.4%であった。このことへ勤務医の心理的負担も無視できない。

Q24 平成16年度から開始された臨床研修医制度必須化についてどう思われますか。それぞれに関し、主な理由をご回答ください。

制度として、良い点、悪い点の両方を指摘する回答がみられた。悪い面の指摘に対して病院団体としても真摯に受け止め、その改善を図っていかなければならない。

Q25 今後の大学医学部、医局のあり方についてどう思われますか。

	回答数(%)
学生教育、研究、大学での臨床に限定する	1306(23.2)
今まで通りに関連病院への医師派遣機能をもつ	1753(31.1)
卒後臨床研修は市中病院で行い、将来専門的臨床及び研究を志す者を 大学での後期研修として受け入れる。	1882(33.4)
その他	294(5.2)
小計	5,235(92.9)
無回答	400(7.1)
計	5,635(100.0)



今後の大学医学部、医局のあり方について、「今まで通りに関連病院への医師派遣機能をもつ」が約3分の1しかなく「卒後臨床研修は市中病院で行い、将来専門的臨床及び研究を志す者を大学での後期研修として受け入れる」「学生教育、研究、大学での臨床に限定する」とあり方に何らかの改善をもとめる意見が多かった。